

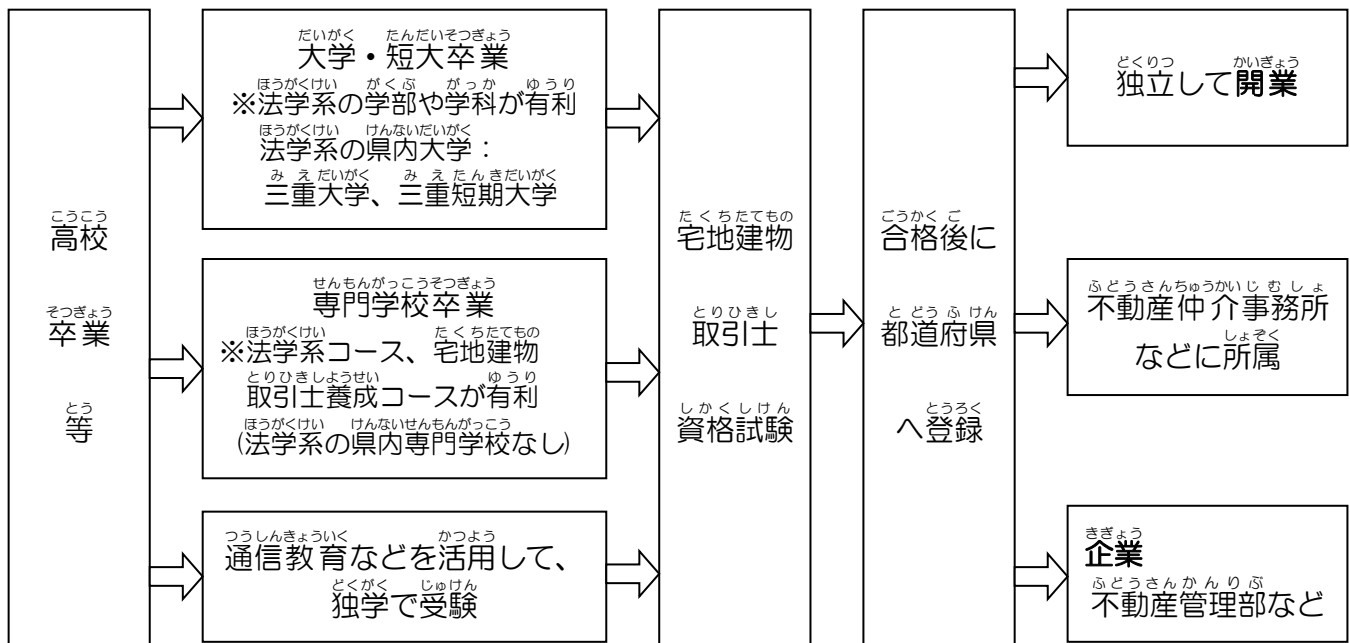
たくちたてものとりひきし 27 宅地建物取引士

(2015年4月1日から、「宅地建物取引主任者」は「宅地建物取引士」となります。)

たくちたてものとりひきし・ふどうさんとりひき せんもんか せんもん ほうりつ ちしき い こじん かいしゃ か
宅地建物取引士は、不動産取引の専門家です。専門の法律の知識を活かし、個人や会社に代わって、
ふどうさんとりひき てつづ しょうい さくせい えんかつ ふどうさんとりひき おこな
不動産取引の手続きのための書類を作成し、円滑な不動産取引を行います。

けんない おお がいこくじん く がいこくこ たくちたてものとりひきし ふどうさんとりひき こま
県内には多くの外国人が暮らしていますので、外国語ができる宅地建物取引士は、不動産取引などで困
がいこくじんじゅうみん たい てだす こころづよ そんざい
っている外国人住民に対して、その手助けができ、心強い存在となります。

たくちたてものとりひきし
宅地建物取引士になるには



<早くから準備をしましょう>

たくちたてものとりひきししけん なんかん だいがく せんもんがっこう にゅうがく ほうりつ せんもんちしき まな ひつよう たか
宅地建物取引士試験は難関で、大学や専門学校に入学して法律の専門知識を学ぶ必要があるため、高い
にほんごのうりよく がくりよく ちと はや にほんご がっこう べんきょう ぼこくご しょうたつ こころ
日本語能力や学力が求められます。早くから日本語や学校の勉強と母国語の上達に心がけましょう。

<資格を取れば どのくらい就職できるの？>

しやく と しゅうしょく
就職先は、企業の不動産管理関係の部署、不動産仲介事務所などです。また、不動産仲介事務所で実務
けいけん つ あと どくりつかいぎょう ひと おお
経験を積んだ後、独立開業をする人も多くいます。

へいきんねんしゅう まんえん じつりよくしだい まんえんいじょう しゅういゆう きたい
平均年収は約500万円で、実力次第では1,000万円以上の収入も期待できます。

<費用(学費)はどれくらい？>

こっこうりつだいがく まんえんいじょう ねんかん しりつだいがく まんえんいじょう ねんかん こくりつたんだい まんえん
国公立大学で240万円以上(4年間)、私立大学では400万円以上(4年間)、公立短大は100万円
いじょう ねんかん せんもんがっこう まんえんいじょう ねんかん
以上(2年間)、専門学校では200万円以上(2年間)かかります。

つうしんきょういく たんきじゅけんこうざ まんえんいじょう
また、通信教育や短期受験講座などは40万円以上かかります。